

健全な言論プラットフォームに向けて ～デジタル・ダイエット宣言～



KGRI Working Papers
No.2

共同提言「健全な言論プラットフォームに向けて
～デジタル・ダイエット宣言 ver.1.0」

Version1.0

2022年01月

鳥海不二夫
東京大学大学院工学系研究科 教授

山本龍彦
慶應義塾大学大学院法務研究科 教授
同グローバルリサーチインスティテュート 副所長

Keio University Global Research Institute

© Copyright 2022

Fujio Toriumi, Professor, The Graduate School of Engineering, The University of Tokyo and Tatsuhiko Yamamoto, Professor, Law School & Deputy Director of Global Research Institute, Keio University

東京大学 鳥海不二夫
慶應義塾大学 山本龍彦

<https://www.kgri.keio.ac.jp/docs/S2101202201.pdf>



言論空間の 情報爆発

• マスメディアによる情報発信

- プロによるコンテンツ
 - 専門的な訓練を受けたコンテンツ
- 限られたコンテンツ
 - 限られたリソース
 - 限られた入手経路



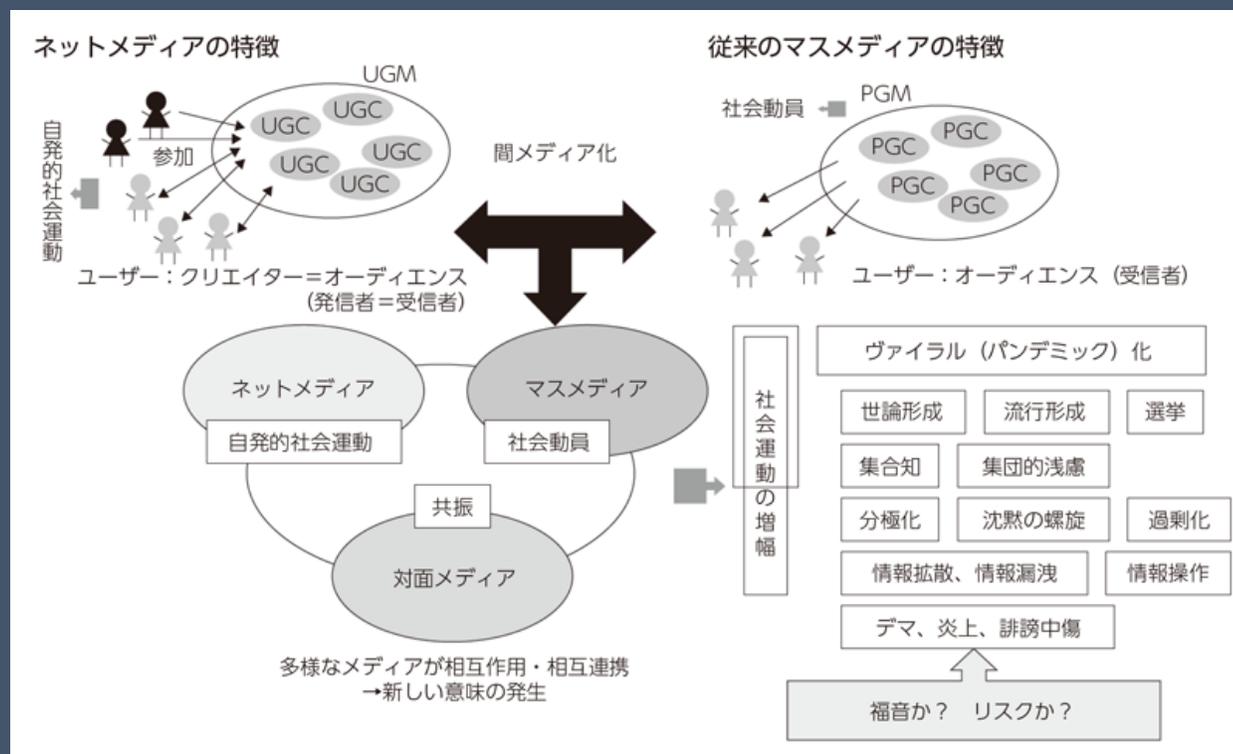
• 情報発信の多様化

- 大量のコンテンツ
- 非専門家によるコンテンツ



現在の情報空間がもたらす社会的リスク

- エコーチェンバー
 - フィルターバブル
- ↓
- インフォデミック
 - フェイクニュース・デマ
 - 社会的分断



アテンションエコノミー

ネットメディア

ネットメディアの
収入=閲覧率

閲覧数が増加→高
収入

閲覧数の高い記事
> 質の良い記事

アテンション

タイトル詐欺

読者が好む話題の
提供(真偽問わず)

SNSでバズりそう
な記事

読者への効果

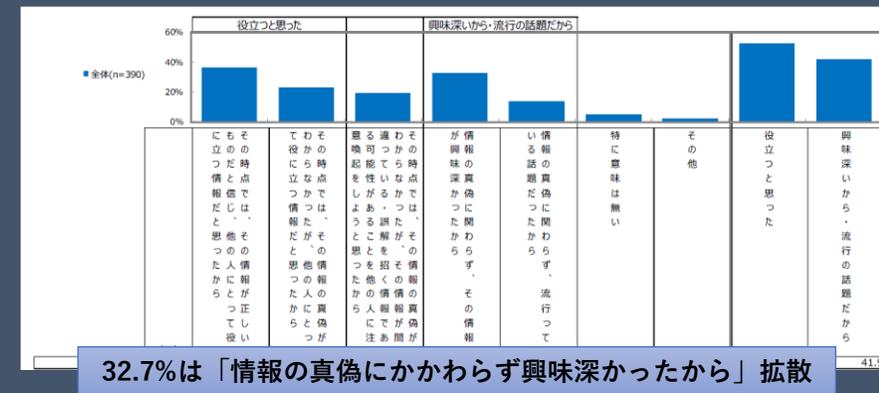
好む話題の提供・
探す手間の軽減

欲しいと判断され
た情報のみの提供

得られたはずの情
報の喪失

ソーシャルポルノ仮説

- ソーシャルポルノ (Social Porn)
 - Social needs (社会欲求) を充足する目的で消費・拡散されるコンテンツ
 - 「感動ポルノ」「愛国ポルノ」と同じく比喩的な定義
- コンテンツの消費目的は社会的欲求の充足
 - 面白い興味深い情報を見て共有して満足
 - 必要な情報を知ることが目的ではない
- 面白さ > 重要さ
 - 「読みたい情報であればフェイクでも良い」



二重過程理論

システム 1

- 自動的に高速で働く
- 努力はまったく不要か、必要であってもわずか
- 自分でコントロールしている感覚は一切ない

システム 2

- 複雑な計算など頭を使わなければできない困難な知的活動
- 代理、選択、集中などの主観的経験と関連付けられる

情報空間における問題解決の困難さ

- アテンションエコノミー
 - プラットフォーマー・ユーザ双方にメリット
 - プラットフォーマー
 - ユーザが好む情報を提供
 - より多くのアクセスによる経済的インセンティブ
 - ユーザ
 - 膨大な情報から「欲しい」情報が提供される
 - 情報探索の時間効率化
 - 長期的・社会的には課題
 - フェイクニュース・インフォデミック・誹謗中傷・・・
 - 短期的な利益 vs 長期的な問題
- 誰も損をしていない状況をどう改善するか？

アナロジーとしての食

- 飽食の時代

- 好きなものを食べようと思えば食べ続けることが可能
- 自らを律することで健康的な食事を実現
- 長期的な健康維持 → 短期的な欲望に勝つ



- 情報的健康という提案

- 適切な情報を見ることはメリットが大きい
- 情報摂取における暴飲暴食の低減
- 長期的な利得 → 短期的なアテンションに勝てる可能性

目指すべき情報的健康

- どうなれば情報的健康なのか？
 - 肉体的健康の定義は比較的容易
 - 情報的健康は？
- 情報的健康の定義
 - 情報的不健康状態の例示
 - 情報的健康のあるべき姿の提示
 - 「こういう状態になりたい」と思わせるモデルケース
 - 複数の健康状態の可能性
 - 「健康的な食事で病気をしない」
 - 「痛風を薬でごまかしながら美味しいものを食べ続けたい」
- 情報的健康の支援
- 情報のカロリー表示
 - 接種する情報が何かを知る
 - 情報の情報 = メタ情報の提供
 - 情報摂取結果の予測可能性の向上
- 情報ドック
 - 情報環境の可視化
 - 自分を状態の確認
 - 必要に応じた行動変化
 - エコーチェンバーの中にいることには気づけない

情報カロリー表示

- メディアリテラシの自動化
 - <https://globe.asahi.com/article/13918604>
 - さ：「作者」は誰か？
 - (Authorship) Who created this message?
 - ぎ：私たちの注意を引くためにどんな創造的表現「技法」が使われているか
 - (Format/Techniques) What techniques are used to attract my attention?
 - し：他の「視聴者」は自分と比べてどのように違った理解をするだろうか
 - (Audience) How might others interpret this message differently?
 - か：どんな「価値観」やライフスタイル、視点が表現されているか、あるいは排除されているか
 - (Content/Framing) What values, lifestyles and points of view are represented in-- or omitted from -- this message?
 - な：「なぜ」メッセージが送られてきたのか
 - (Purpose) Why is this message being sent?

bbc.com NewsGuard

This website mostly adheres to basic standards of credibility and transparency.

The website for the U.K.-based British Broadcasting Corp., the world's largest public news broadcaster. Its international news coverage is published in more than 40 languages.

Score: 95/100 See the full Nutrition Label →

CREDIBILITY	TRANSPARENCY
✓ Does not repeatedly publish false content	✓ Website discloses ownership and financing
✓ Gathers and presents information responsibly	✓ Clearly labels advertising
✓ Regularly corrects or clarifies errors	✓ Reveals who's in charge, including any possible conflicts of interest
✓ Handles the difference between news and opinion responsibly	✗ The site provides names of content creators, along with either contact or biographical information
✓ Avoids deceptive headlines	

US election 2020 polls: Who is ahead - Trump or Biden? - BBC

News Guard

Twitter投稿の分析による注意喚起

意見の分断状況を視覚化

少数のアカウントが多数している状況を視覚化

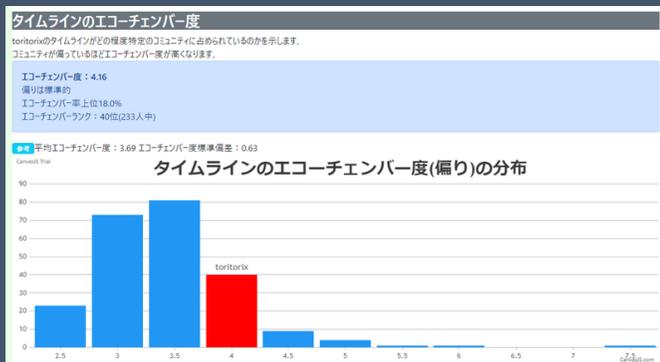
信頼性の低いアカウントの数とそれらによる投稿数

クリックによる画面遷移

ネット上の盛り上がりが必要なニュースにマーク、さらにクリックすると、意見が大きくいつかに分かれている、少数の人が数多くのツイートを行っている等が分かる図表が表示される。これらにより、フェイクニュース等の課題に対し、利用者自身が「気付き」を得られることをめざす。

情報ドック

- エコーチェンバー可視化システム
 - Twitter上の偏りを評価するシステム
 - タイムライン上のコミュニティ分布を算出
 - Twitter全体との分布の差で評価
 - 偏っていることを認識する
 - 偏りは通常の視点では可視化不能
 - システムからの支援



<https://torilab.sakura.ne.jp/twitter/echamber/>

- Yahoo!ニュース検診
 - 情報の生活習慣チェック
 - ニュースで気を付けるべき点を自己診断

Yahoo!
ニュース
健診

デマや誤情報に対する
生活習慣をチェックしましょう。

<https://news.yahoo.co.jp/kenshin/>

情報的健康に向けて

- プラットフォーマーの協力が不可欠
- 研究協力の勧め
 - 研究者, 企業ともにメリット
 - 例えばデータ提供
 - ユーザの行動履歴 (プライバシーに考慮したもの)
 - 過去の提供情報ログ
- 協力へのインセンティブ
 - 何が起きているのかの正確な理解
 - 「多様な情報の推薦システムの導入はクリック率の減少を招くのでインセンティブがない」
 - データで分析
 - 多様な情報を推薦するシステムがPFにインセンティブをもたらす可能性